

◆二級水系井戸川水系井戸川砂防災害関連事業 透過型砂防えん堤の完成について

二級水系井戸川水系井戸川(熊野市井戸町)で災害復旧を進めていました砂防災害関連事業のうち、宇井集落上流部の透過型砂防えん堤が完成しました。

当該箇所は、平成23年9月の台風12号による紀伊半島大水害により甚大な被害が発生しました。このため、下流にある民家や小学校等の公共施設を守るため、被災後の平成23年度より復旧事業を進め、この度、透過型砂防えん堤が完成しました。

- ◇ 工事箇所 熊野市井戸町地内
- ◇ 工事期間 平成26年4月～平成27年10月
- ◇ 工事費 1億2,000万円
- ◇ 施設形状 透過型砂防えん堤(透過部は鋼製) 堤長:59.9m 堤高:5.6m
床固工 堤長:27.4m 堤高:2.2m
- ◇ 施設効果量 土砂:4,698m³ 流木:190m³

現在、井戸川流域では、瀬戸地内の宮前橋付近や県道七色峡線の峠橋付近、宇井橋付近において、早期の災害復旧事業完了に向け、鋭意、工事を進めています。



※透過型砂防えん堤とは

コンクリートの堰で川の流れをせき止めることにより土石流を止める不透過型砂防えん堤に対し、普段流れてくる土砂は下流に流し、大雨などで発生した土石流や流木を止めることができます。

透過型砂防えん堤は、川の水や土砂を自然に近い形で流すことができ、魚や虫、動物などが行き来しやすく、より自然に近い環境を維持できます。